



滝小だより

滝頭小学校学校だより 2021st

令和3年11月30日

12月号

横浜市立滝頭小学校

校長 鶴飼 数夫

手をつなごう 笑顔いっぱい 大好き滝小

Hand in hands, Shining Smiles, We ♥ TKG



〒235-0011 横浜市磯子区丸山 2-25-1 TEL 045-751-0344、0345 Fax 045-761-9392

URL: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/takigashira/>

滝頭小 検索

おしゃれと身だしなみ

校長 鶴飼 数夫

今年も12月10日の世界人権デーを最終日とする人権週間を迎える季節となりました。滝頭小学校では、今週からその取り組みを始めました。

人権とは、全ての人々が誰でも生まれながらにして持っている「自分らしく生きる権利」です。全ての人々が自分らしく生きることを実現していくためには、一人ひとりの違いをお互いに認め合い、それぞれが大切な存在であることを知ることが必要です。金子みすゞさんの有名な詩の一節にある「みんなちがってみんないい」は、まさにそれを言い得ています。「多様性と共生」と言い換えることもできます。本校では、学校教育目標を具現化するための重点取り組み目標として掲げています。多くの外国籍や外国につながる児童など様々なバックボーンをもつ子どもたちが集い、仲間として学んでいる本校において、最も大切にしなければならないテーマであると認識しています。

そんなタイミングで、今回、年度当初に配布してある【学校生活のきまり】「滝頭小学校のやくそく」の一部を見直すことにしました。

具体的には、「★生活」の項目に以下の文言を追加します。

○それぞれの学びの場にふさわしい身だしなみを整えるようにしましょう。 この項目には、もともと

○気持ちのよいあいさつをしましょう。○ていねいな言葉遣いをしましょう。○休み時間は、約束と時間を守って、仲良く遊びましょう。の3つが掲げられています。これらは、違反したからといって、罰則などの規定はありません。しかし、目指すべき大切な目標として指導していきます。

「それぞれの学びの場」とは、教室での授業、校庭や体育館など体育学習、休み時間、給食の時間、掃除の時間、校外学習、儀式行事など、学校生活における様々な場面を意味します。「身だしなみ」とは、相手や周りの人のことを考えて服装や髪形を整えることで、自分以外の人に対して気遣う行為です。自分よりも相手に対して与える印象、最低限のマナー、それが身だしなみの意味になります。自分の価値観のみで考える「おしゃれ」とは違います。小学校生活における様々な場面での「身だしなみ」とはどんなものが相応しいのか、よく考えて行動することを目指しています。これは、やがて社会に出てから求められる資質ですので、発達段階に応じて今のうちから指導していくべきものと考えています。

このことは、一見、多様性を大切にしていこうという人権的発想と背反するように思えますが、様々な価値観をもつ人々で構成する社会において、自分の価値観のみを優先するのではなく、自分以外の人のことを慮ることが成熟した社会をつくる秘訣だと考えます。もちろん、歴史的にも価値観は変遷してきており、これから先はどうなるかわかりませんが、少なくとも「今」の一般的な価値観を拠り所とします。

一方で、【体育のとき】●安全のため、爪は短く切り、ヘアピンや飾りのついたゴムやアクセサリはつけません。【持ち物】●学校には学習に必要なものだけ持ってきます。という規定もあります。ピアスなどのアクセサリ類は、この中で考えるべきもので、「禁止」と読み取ることができます。安全確保にかかわる事項については、人権の中でも最も大切にすべき内容なので、待たなしです。

家庭配布版には、第73回人権週間のポスターを掲載してあります。

詳しくは、法務省のHPをご参照ください。↓

<https://www.moj.go.jp/JI/NKEN/jinken03.html>

第73回人権週間ポスター